



COLORS

宮城ユキミ 田中琢問カルビン
2015年12月17日 @外国人集住都市会議

COLORSとは？

カラース

- ◇ Communicate with
- ◇ Others to
- ◇ Learn
- ◇ Other
- ◇ Roots and
- ◇ Stories

【目的】

外国にルーツを持つ若者たちが個々の多様性を生かして活躍できるような社会をつくる！



きっかけ

○ HICE主催「78ヶ国の浜松市民が大集合？！

未来はみんなでつくる！」









MUSIC WORKSHOP

ONE sound

COLORS

きっかけ

- 〇 もっと交流の場の提供や活動を継続したい
- 〇 2014年1月に発足



活動内容

- 毎年、活動内容が変わる
- その時のニーズに合わせた活動内容



平成26年度

○「話し合う集まり」

○ テーマ

○ あなたのルーツをストーリーを語ろう

○ もっとキビシイことを語ろう～私はこうやって学んだ！～

○ 国際結婚



グロー

(第3期第2回)

「第2世代」の就活後押し

語学力に優れ、気後れしない性格……。外国にルーツを持ち、日本で教育を受けた「第2世代」とも呼ばれる若者が多い浜松市で18日、就職を後押しするセミナーが開かれた。企画した浜松国際交流協会(HICC)の松岡真通恵さん(44)は「母国と日本の事情を通じて、日系企業に合っている」と太鼓判を押して、参加企業からも採用の検討に前向きな反応が見られた。

(前掲太鼓判)

企業担当者との懇談会は、参加者を募集する場でもあった。



浜松でセミナー

参加企業も
前向き反応

語学力に優れ
気後れしない

「グローバル人材就職応援セミナー 特性の活かした方」と銘打った今回のセミナーは、浜松市から参加を受けたHICCと、外国にルーツを持つ若者の団体「COLORS」が企画・運営した。

HICCでは、1980年代後半に始まったバブル期以降にブラジルやフィリピンなどから家族で来日した子ども(10〜30歳代)を「第2世代」の中心に位置づけている。①日本語に加えて母国語や英語が堪能、②2つ以上の文化の価値観を受け入れ、適応力や発想力にたけている——といった

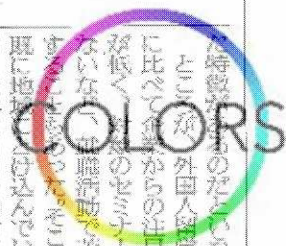
特徴を持つのだという。ところが、外国人留学生に比べて企業からの注目度が低く、就職活動で苦戦している。このセミナーは、そうした若者の就職活動を後押しする場として開かれた。

第2世代にも目を向けてもらおうと、企画された。

この日は、ブラジルや中国をルーツに持つ高校生から30歳代の約20人が参加し、実際に社会で活躍する先輩2人の体験談に耳を傾けた。

上谷レオナルドさん(30)は4歳の時にブラジルから家族で来日。大手自動車会社でデザイン関係の業務に就いた後、27歳で消防士に転職した経歴を持つ。土谷さんは1自分が外国人だから劣るとの考えは捨てて、仕事への思いをアピールした。と、自身の就職活動を経験したアドバイスを送った。

その後、地元企業など3社の人事、海外事業部担当



平成27年度の取り組み

- 「出張カラーズ」の実施
- 高校生の励みとなるような活動をしたい！
- 浜松市内県立高校の協力を得て、3回の出張講座を実施



課題

○ グローバル人材就職セミナー

外国にルーツを持つ学生の存在の**認知度の低さ**



課題

- 出張カラース
- 社会経験のないメンバーが多い
- 一つの大学に偏っている



展望

- 出張カラーズ 別の高校からの依頼も！
- 柔軟な形で活動を実施！
- どんどん次の世代へつなげていく！

